日栄インテック製

CCDタッチスキャナ

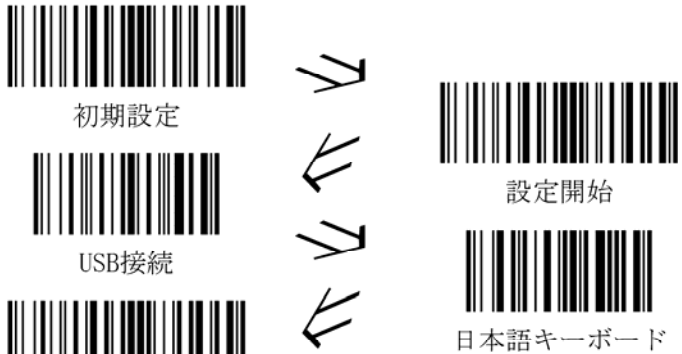
ＦＦＴＡ１０Ａ／１１シリーズ

特殊設定活用事例集

ＦＦＴＡ１０Ａシリーズ

ＦＦＴＡ１１シリーズ

初期化(USB 用)



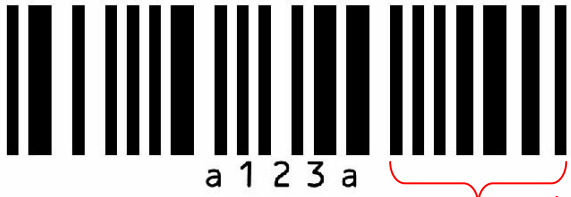
日栄インテック株式会社
バーコード事業部
TEL：03-5256-7733　FAX：03-5256-5503
E-Mail：info@barcode.ne.jp

デコード多重チェック

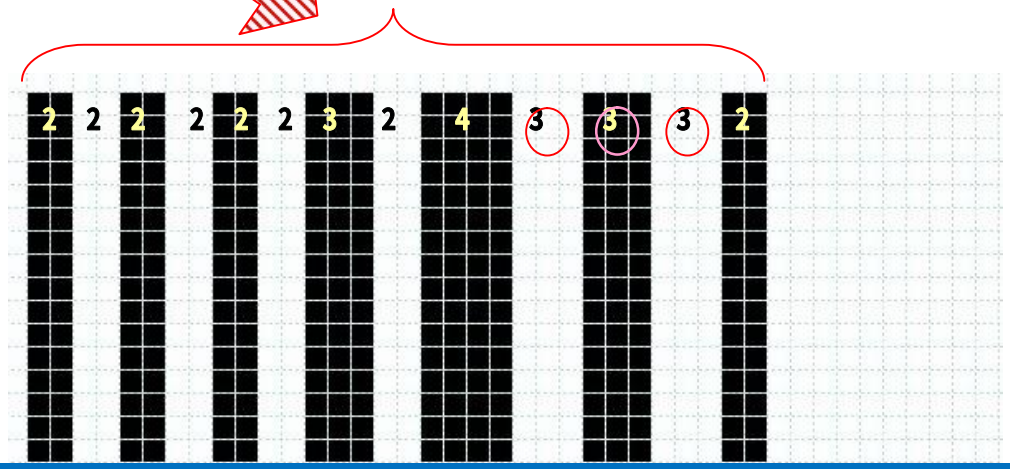
FFTA10A／FFTA11

【内容】
誤読しやすいバーコードラベルであった場合、数回のデコーディングを行うことで**誤読防止**になります。
回数の設定は、１６進２桁で表現します。
デフォルトは０１（１回）です。

【活用例】
画像化されたバーコードを引き延ばしたものを印刷したため、
白スペースと黒ＢＡＲとの対比が合わなくなって、認識しづらいバーコードラベルになってしまった。



ここがあやしい！！
バーコードの太さが不均一なため、
誤読しやすい。



デコード回数を２回にする場合の設定

設定例

開始

チェック回数
の設定

0
（１６進２桁で２回）

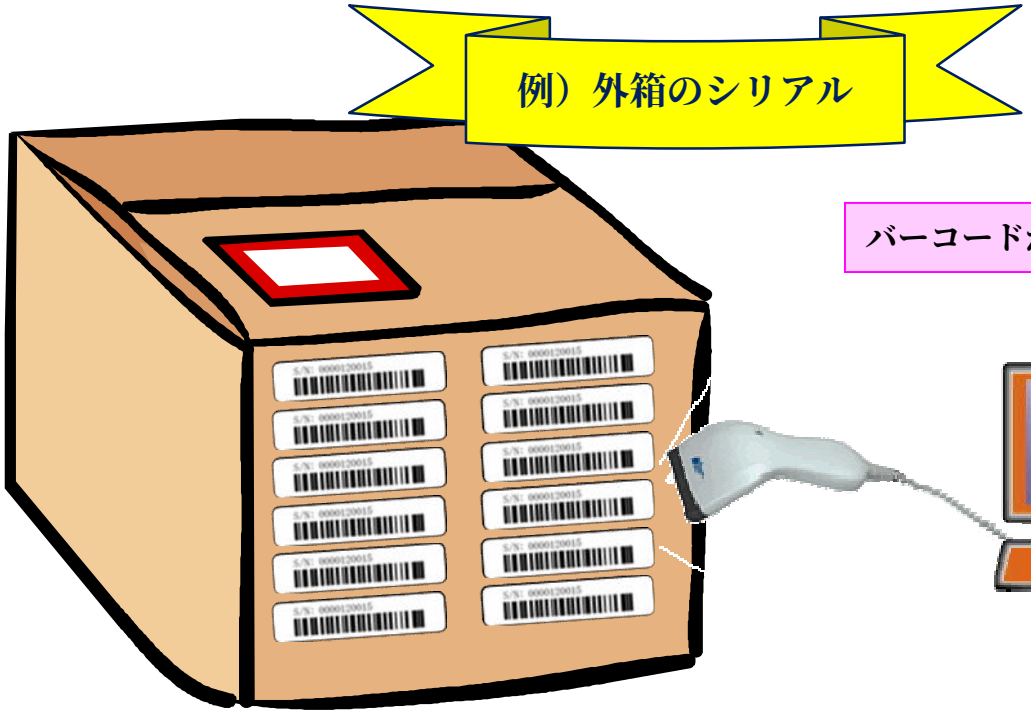
2
（１６進２桁で２回）

二度読み防止機能

FFTA10A／FFTA11

【内容】
同じバーコードを続けて２回読んでしまうことがないように、一定時間バーコードデータを監視する機能です。
異なるバーコードであれば通常の連続読み取りが出来ます。
時間の間隔の設定は、１６進２桁で表現します。

【活用例】
電子機器の同梱でシリアルを外装に貼ってあるなど、たくさん並んだバーコード同士の間隔が小さいため、間違って同じものを２度読みしてしまう場合。



バーコードがたくさん並んでいる

設定例

「２５．５秒で設定」

設定開始

連続読ON

設定開始

Safety time setting

F
（１６進２桁で２５５）

F
（１６進２桁で２５５）

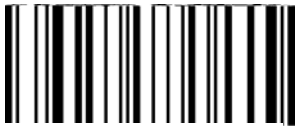
CapsLock ON

【内容】
キーボードのCapsLockがONであると、バーコードデータもONの効果がでます。
バーコードデータが大文字であれば小文字に、小文字であれば大文字に変換されます。
リーダー側のCapsLockをONにすることで、
　大文字→小文字→大文字　　AはA
　小文字→大文字→小文字　　aはａ
というように元に戻ります。
【活用例】
キーボードで大文字入力しながらバーコード入力するケース。

設定例

設定開始

CapsLockON

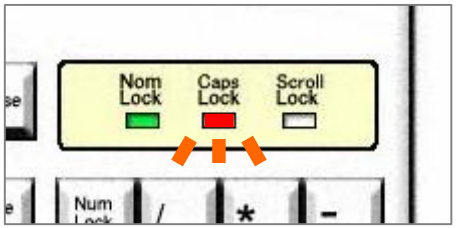


CapsLockOFF

設定終了

例）CODE３９

NICHIEI



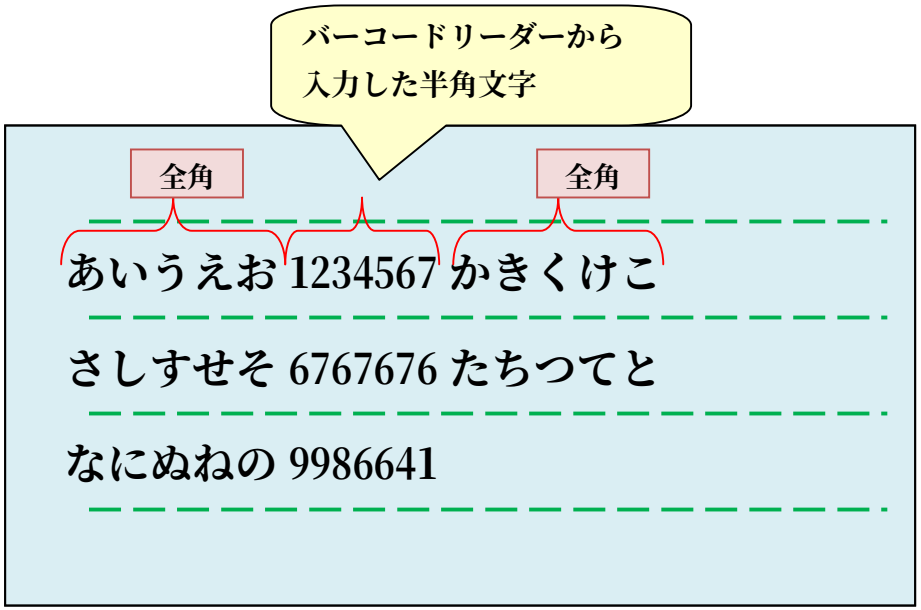
元のデータ	CapsLock･OFF	CapsLock･ON
小文字	ＮＩＣＨＩＥＩ →→→	ｎｉｃｈｉｅｉ
大文字	ｎｉｃｈｉｅｉ →→→	ＮＩＣＨＩＥＩ

キーボード入力は大文字なので、
バーコード（CODE３９）も大文字にしたい

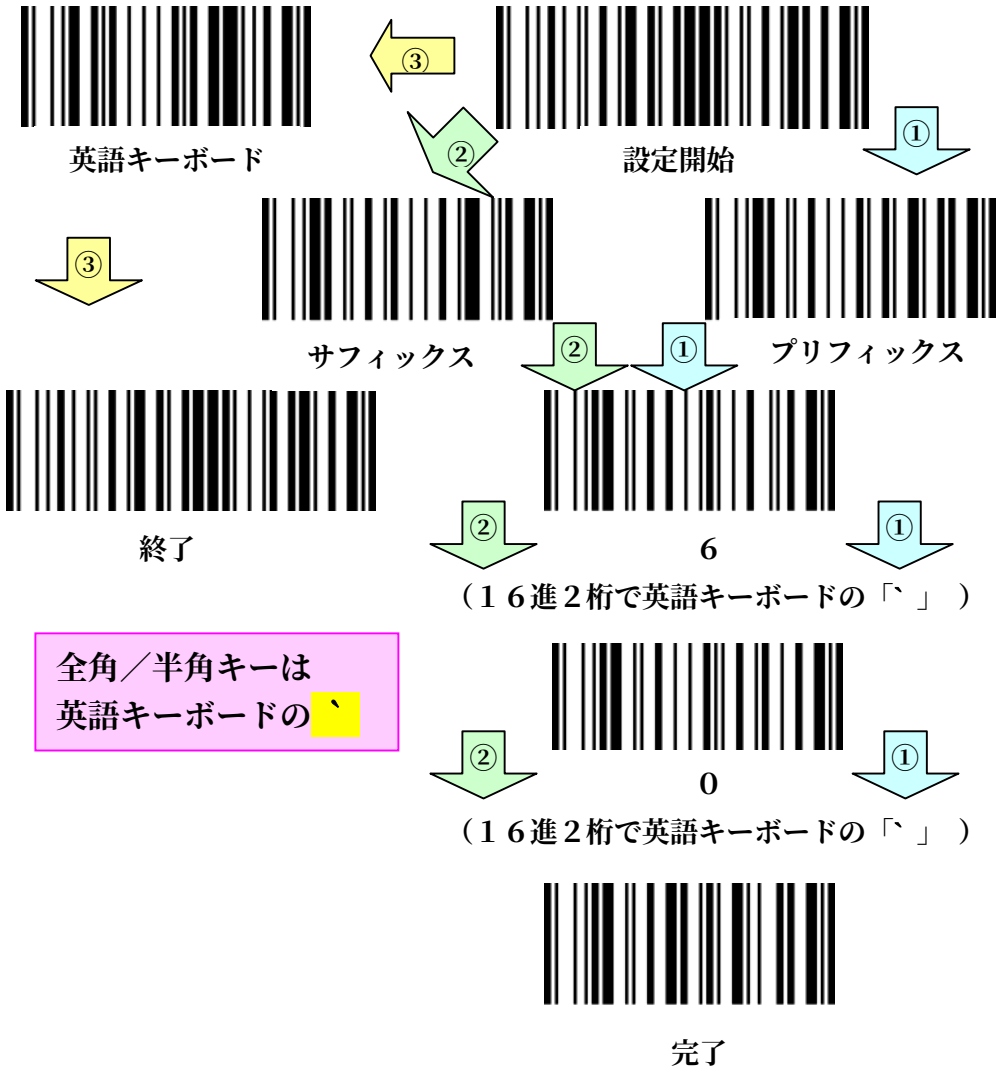
日本語入力中に半角出力を

FFTA10A／FFTA11

【内容】
キーボードで日本語文章をかな入力中にバーコードデータを入力しようとすると、バーコードデータも全角になってしまいます。
リーダーからのバーコードデータのみ半角にする場合、この設定で可能になります。
設定の構造は、
　全角／半角ＯＦＦ → バーコードデータ → 全角／半角ＯＮ
となっています。
※）リーダーの設定は英語キーボードにします。
【活用例】
ＥＸＣＥＬなどで作文中にセルにバーコードデータを入力したい。



設定例



全角／半角キーは
英語キーボードの ｀

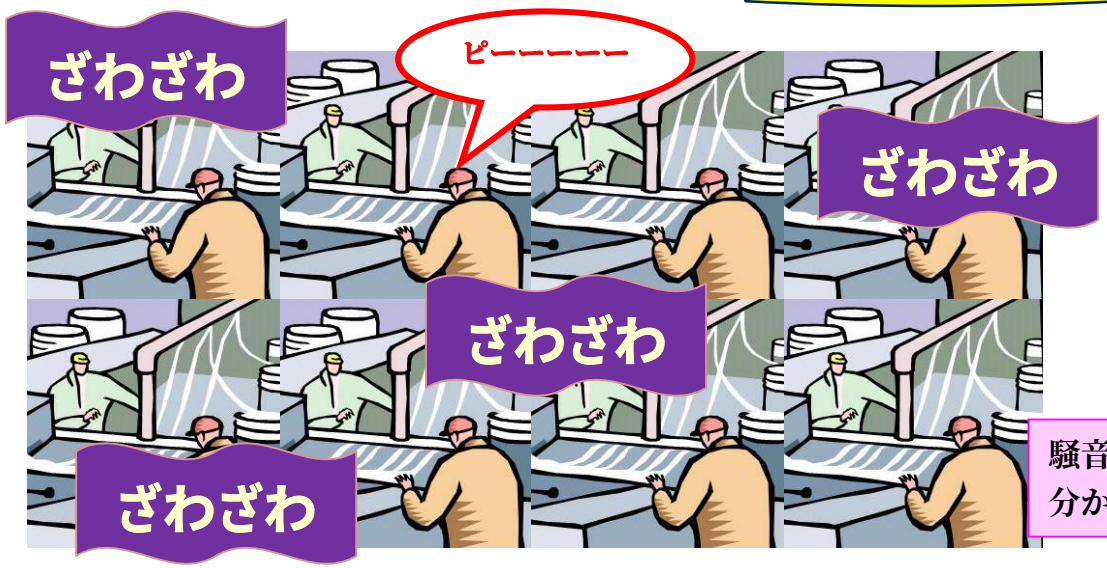
ブザー音の長さの設定

FFTA10A／FFTA11

【内容】
読み取りブザー音の長さを０．０１秒（０１）から２．５５秒（ＦＦ）まで変更することができます。
デフォルトは０．０５秒（０５）です。

【活用例】
読み取りブザー音を長くすることで、騒音の中での作業でも読み取りを確認することができるようになります。

例）製造ライン



騒音でブザー音が分からない

設定例

設定開始

ブザー音の長さの設定

Ｆ（１６進２桁で２５５）

Ｆ（１６進２桁で２５５）

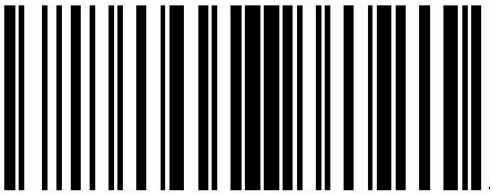
起動音なし

FFTA10A／FFTA11

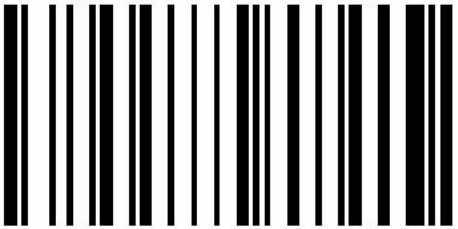
【内容】
ＰＣを立ち上げた時、リーダーがつながっていれば“ピー”と起動音が鳴ります。
この設定でリーダーに電源が入った時の起動音なくすことが出来ます。
【活用例】
病院にて数十台のＰＣがＡＭ８：００に一斉に起動するため、すべてのリーダーが一斉に鳴り出して患者さんに迷惑をかけた。
この設定でＰＣ起動時が静かになった。

ＰＣが朝８時と同時に一斉に立ち上がる

設定例

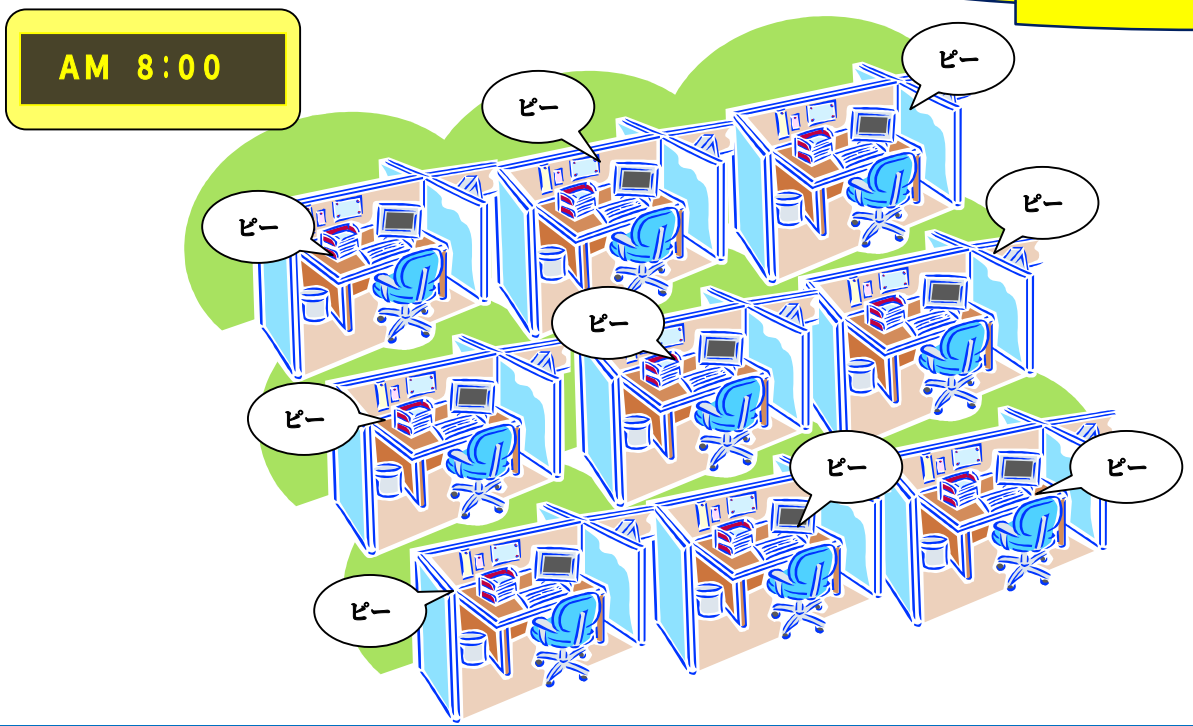


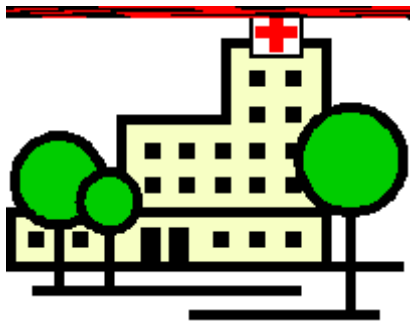
設定開始



起動音ＯＮ／ＯＦＦ

例）病院の始業





バーコード種別ごとのコードＩＤ

【内容】
バーコードの種別ごとに任意の１文字または２文字を
バーコードデータの前に付加することが出来ます。
【活用例】
バーコード種別ごとに項目が異なる使用方法。
「コンタクトレンズの出荷時にロット管理をしたい」
　商品型番：ＪＡＮ１３→先頭にＪＪを付加する
　ロット番号：ＥＡＮ１２８→先頭にＥＥを付加する
　宅配便送り状番号：ＮＷ－７→先頭にＮＮを付加する

例）UPC/JAN13 は先頭に JJ を付加

例）コンタクトレンズの出荷

＜アプリケーションソフト＞
入力されるコードの先頭文字を判断して
自動で所定の項目に入力してくれる
ロット管理システム

バーコードリーダーから入力されるデータ

JJ4560151183114
EE08032601
EE08032603
EE08032624
EE08032659
NNa123456789a

商品番号とロット番号に送り状番号をヒモ付けて登録

設定例

設定開始

種別ＪＡＮ１３

４（１６進２桁でＪ）

Ａ（１６進２桁でＪ）

４（１６進２桁でＪ）

Ａ（１６進２桁でＪ）

ＡＳ４００実行キーを右ＣＴＲＬキーで代用

ＦＦＴＡ１０Ａ／ＦＦＴＡ１１

【内容】
ＡＳ４００（ＳＹＳＴＥＭ－ｉ）におけるキー操作において、入力値確定のための実行キーを、ＤＯＳ／Ｖキーボードでは右Ｃｔｒｌキーで対応します。
本設定では、バーコード入力後に改行の代わりに右Ｃｔｒｌキーを付加することで、リーダーでのバーコード入力確定を可能にします。

【活用例】
ＡＳ４００の業務システム。

注）ご使用の際は
ターミネータの設定を
“なし”にして下さい

設定例

設定開始

サフィックスの設定

A
（１６進２桁で右ＣＴＲＬ）

9
（１６進２桁で右ＣＴＲＬ）

終了

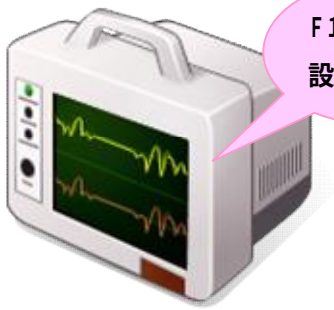
ファンクションキーの入力

FFTA10A／FFTA11

【内容】
アプリで“Ｆ１”などファンクションキーを頻繁に使用する場合、ファンクションキーに相当するバーコードを読ませることで、キーボードから入力したと同じ効果がある設定です。

【活用例】
計測器のアプリで“Ｆ１キー”が設定完了。
ＡＳ４００で実行キーの代わりに“右Ｃｔｒｌキー”を入力して確定する。

例）計測器



設定例

設定開始

設定ＯＦＦ

設定ＯＮ

設定終了

ファンクション設定ＯＮ

ファンクションの“Ｆ１”

キーボードの“Ｅｎｔｅｒ”

キーボードの“右Ｃｔｒｌ”

ＰＣのシャットダウン

ＦＦＴＡ１０Ａ／ＦＦＴＡ１１

【内容】
ＰＣを電源ＯＦＦ（シャットダウン）させるバーコード設定です。
作業者にＰＣのキーボードを触れさせたくない現場で活用できます。
キーボードレス、リーダーだけで作業させるケースです。

【活用例】
工作機の設定をＰＣとバーコードで行っているケース。
店頭ディスプレイで、パワーポイントファイルをエンドレスで流しているケース。

ファンクション設定ＯＮ

設定例

設定開始

設定ＯＦＦ

設定ＯＮ

設定終了

電源 OFF(Ctrl＋Esc＋U＋U)

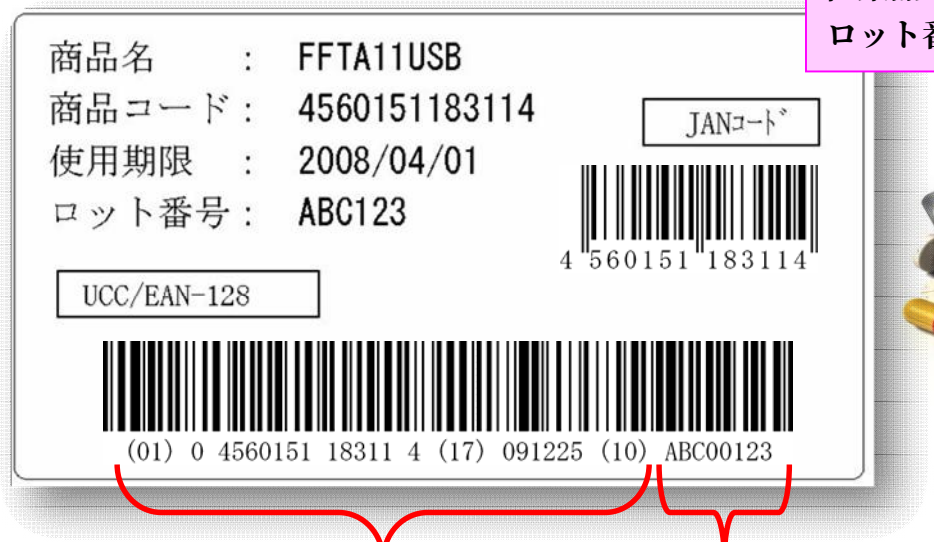
再起動(Ctrl＋Esc＋U＋R)

ケタ数抜き出し

【内容】
バーコードの指定桁を抜き出す設定です。
バーコードデータの中から必要な情報だけ取り出して扱うのに便利です。

【活用例】
医療関係の EAN128 ラベルよりロット番号だけ抜き出して使用するケースや、商品コードのみ抜き出して使用するケース。

医薬品の EAN128
ロット番号の抜出し



削除する２６桁（１６進で１A）　　保存する８桁（１６進で０８）
（１０）ロット番号

＜設定方法＞
設定開始→データ加工（削除）→バーコード種別→削除する桁数
→保存する桁数→FF で残り削除

①設定開始

②データ加工・削除

③０（１６進で０８）

④８（１６進で０８）

⑤１（１６進で１A）

⑥A（１６進で１A）

設定例

⑦０（１６進で０８）

⑧８（１６進で０８）

⑨F（１６進で FF）

⑩F（１６進で FF）

⑪決定